



平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 ネクシーズ

コード番号 4346 URL <http://www.nexyz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 松井 康弘

TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	3,988	40.4	80	—	68	—	△3	—
21年9月期第2四半期	2,840	—	△77	—	△106	—	△396	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	△2.84	—
21年9月期第2四半期	△320.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	7,521	4,432	26.2	1,556.51
21年9月期	7,906	4,591	25.8	1,616.80

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 1,973百万円 21年9月期 2,037百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	60.00	—	65.00	125.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期 (予想)	—	—	—	125.00	125.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	16.8	120	—	100	—	△50	—	△39.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔注〕詳細は、8ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年9月期第2四半期 1,341,364株 21年9月期 1,341,364株

② 期末自己株式数 22年9月期第2四半期 73,610株 21年9月期 81,035株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年9月期第2四半期 1,264,949株 21年9月期第2四半期 1,234,304株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、外需の持ち直しや緊急経済対策の効果などを背景に景況回復の兆しが見え始めたほか、雇用環境にも僅かに改善が見られました。しかしながら、海外景気に下振れ懸念があるほか、個人消費の低調な推移やデフレの影響もあり、依然として厳しい状況が続きました。GDPの伸び率は、平成21年10月～12月に0.9%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比 1.2%～ 2.2%の間で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは事業の種類別セグメントの持つ特性を最大限に活かし、それぞれを成長・発展させていくと同時に、グループ経営による更なる企業価値の向上に努めております。

当社グループの事業の種類別セグメントは、ブロードバンド事業、ソリューションサービス事業、文化教育事業の3つに区分しております。

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」（以下、「Nexyz.BB」）の提供および加入希望者の獲得を行っております。

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」（以下、「旅色」）の提供のほか、金融商品仲介、保険代理店業務、業務用食品卸業支援等の企業の販売促進支援に関わる業務を行っております。

文化教育事業では、ハクビ総合学院による、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売が主な業務であります。

当第2四半期連結累計期間においては、引き続き「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得に注力したことで、会員数が16万9千人となり、会員から得られるISP料金も増加いたしました。また、「旅色」の広告クライアントである宿泊施設や飲食店等の新規契約や契約更新の数が順調に増加し、広告掲載料による収入も増加いたしました。その他の各業務についても堅調に推移いたしました。ハクビ総合学院においては、第2四半期会計期間（1月～3月）は毎年催事が少ないものの、教室の生徒からの月謝等の収入は安定して得ることができました。

一方で、当社グループ全体としては、継続的に費用の削減に取り組み、営業に係る電話通信費や賃借料の費用圧縮に加え、広告宣伝費や採用費などの支出を見直したことにより、従来よりも販売費及び一般管理費を抑えた事業運営が行うことができました。

これらの結果、売上高3,988百万円（前年同四半期比40.4%増）、営業利益80百万円（前年同四半期営業損失77百万円）、経常利益68百万円（前年同四半期経常損失106百万円）となり、四半期純損失は3百万円（前年同四半期純損失396百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメント情報の概況は次のとおりです。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、引き続き説明型テレマーケティングによる提案営業を中心に新規加入希望者の獲得を行ったことで、インターネット未経験者の加入や低価格志向の強い他社インターネット利用者の乗り換えがあったことから会員数が増加し、会員から得られるISP料金も増加いたしました。また、経費削減に取り組んできたことで電話通信費や賃借料の営業費用が圧縮できたこともあり、ブロードバンド事業は、売上高1,572百万円、営業利益45百万円となりました。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、様々な製品・サービスの販売促進支援を行っております。

旅行ウェブマガジン「旅色」では、著名なタレントを起用して旅行をテーマに日本各地の観光情報を雑誌形式で紹介しております。また、「旅色」のウェブサイト上で「坂本龍馬ゆかりの地に行く」などの特別企画を立ち上げて周辺施設の広告を掲載したり、ペットウェブマガジン「puppine(パピーヌ)」でペットと一緒に宿泊可能な施設の広告を掲載するなどの業務拡大に向けた取り組みも行いました。加えて前連結会計年度の同時期(平成21年1月～3月)に契約した既存クライアントの年間契約の更新があったことにより、クライアント数、広告掲載料がともに増加いたしました。

そのほか、金融商品仲介、保険代理店業務、業務用食品卸業支援、についてもそれぞれ堅調に推移いたしました。なお、情報通信サービスのキャリアから継続して得られる手数料収入については、引き続き利用者の解約に伴う自然減がありました。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高1,243百万円、営業利益242百万円となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業は、きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売を行っております。この事業は平成21年4月に株式会社ハクビを子会社化したことにより新たに参入した事業であります。

同事業では、教室運営による月謝等の安定的な収入がありました。また、きもの着付けをより身近に親しんでもらうための取り組みとして、毎年恒例となっている日本最大級の着物イベント「きものクイーンコンテスト」を開催したほか、和文化をテーマにしたフリーマガジン「kiino(きいの)」の第2号を発刊いたしました。なお、季節要因で1月～3月は毎年催事が少ない時期となっております。

これらの結果、文化教育事業は、売上高1,274百万円、営業損失1百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は7,521百万円となり、前連結会計年度末に比べて385百万円の減少となりました。

流動資産は4,644百万円となり、前連結会計年度末に比べて363百万円の減少となりました。これは主に短期借入金の返済や社債の償還、配当金の支払い、少数株主への配当等により現金及び預金が562百万円減少した一方で、売上高の増加により売掛金が97百万円増加したことや、前払費用が49百万円、未収入金が26百万円、未収法人税等が16百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は2,876百万円となり、前連結会計年度末に比べて21百万円の減少となりました。これは主にインターネット接続サービス「Nexyz.BB」のサーバーを拡張したこと等により工具、器具及び備品が純額で12百万円、ソフトウェアが純額で21百万円増加したことや、投資有価証券が31百万円増加した一方で、振替により建設仮勘定が34百万円、事務所の賃貸借契約の見直しに伴い敷金及び保証金が46百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は2,996百万円となり、前連結会計年度末に比べて180百万円の減少となりました。これは主に短期借入金が189百万円、1年内償還予定の社債が80百万円それぞれ減少した一方で、買掛金が22百万円、未払金が14百万円、前受金が43百万円、「Nexyz.BB」の会員数増加に伴い解約調整引当金が22百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は91百万円となり、前連結会計年度末に比べて46百万円の減少となりました。これは主に社債を1年内償還予定の社債に組み替えたことにより40百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,432百万円となり、前連結会計年度末比158百万円の減少となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

まず、四半期純損失3百万円を計上し、また期末の配当を行ったこと、中間法人ネクシィーズ従業員持株事業体が保有する当社株式をネクシィーズ従業員持株会に譲渡した際に、自己株式処分差額が発生したこと等により、利益剰余金が143百万円減少いたしました。一方、この譲渡により自己株式が76百万円減少いたしました。

そして、連結子会社で配当があったこと等に伴い少数株主持分が94百万円減少いたしました。

以上により流動比率は155.0%となり前連結会計年度末比2.6ポイント低下いたしました。株主資本比率は、26.2%となり前連結会計年度末比0.4ポイント上昇いたしました。時価ベースの株主資本比率は58.8%となり前連結会計年度末比4.0ポイント上昇いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は2,821百万円となり、前連結会計年度末残高3,138百万円と比較して、316百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は126百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額61百万円、売上債権の増加額53百万円等を計上した一方で、税金等調整前四半期純利益49百万円、仕入債務の増加額22百万円等を計上いたしました。

また、非現金支出項目として減価償却費122百万円、解約調整引当金の増加額22百万円、固定資産除却損9百万円等を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は20百万円となりました。これは主に、子会社の自己株式の取得による支出50百万円、投資有価証券の取得による支出50百万円、有形固定資産の取得による支出56百万円、無形固定資産の取得による支出59百万円等があった一方で、定期預金の払戻による収入245百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は463百万円となりました。これは主に、借入金の返済に伴う短期借入金の純増減額189百万円、社債の償還による支出120百万円、配当金の支払額80百万円、少数株主への配当金の支払額88百万円が発生したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績が好調であったことから修正いたしました。

これは、当社グループの各事業においてそれぞれ売上高が好調に推移した結果、連結業績における売上高が増加した一方で、費用の見直しを続けたことで販売費及び一般管理費を抑えた、効率的な事業運営を行うことができたことによるものであります。

今後の各事業の取り組み、通期業績予想については、以下のとおりであります。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、引き続き説明型テレマーケティングを中心としたインターネット接続サービス「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得に注力してまいります。また、株式会社ベネフィット・ワンとの提携により、付加サービスとして会員向けの飲食店や宿泊施設等の割引サービス「Benefit Station」を提供開始しており、同サービスの提供にも注力することで、収益力の強化に努めてまいります。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、旅行ウェブマガジン「旅色」において雑誌やテレビとのタイアップによる認知度および媒体価値の向上に取り組むと同時に、宿泊施設等の広告クライアントの新規開拓の営業に引き続き注力してまいります。その他の金融商品仲介、業務用食品卸業支援、保険代理店業務等についても、安定、拡大を図ってまいります。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室の運営による安定した収入と、季節や時期に応じたイベントや展示会による臨時的な収入が見込まれます。イベントや展示会等の催事は主に7月～9月に開催いたします。なお、平成21年4月に株式会社ハクビを子会社化したため、同社の業績が前連結会計年度は4月以降の半期分だけが反映されておりましたが、当連結会計年度は通期で反映されることとなります。

通期の連結業績予想につきましては、景気の悪化に伴う個人消費の低迷が続くなど、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。また、ブロードバンド事業において、会員数の増加に対応したサーバーの容量拡張に伴う費用や、営業未経験の新卒社員増員に伴う一時的な営業効率の低下が見込まれます。しかしながら、第2四半期累計期間の各事業の業績が好調であったことや上記の各事業の今後の取り組みから、売上高8,000百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益120百万円（前年同期営業損失157百万円）、経常利益100百万円（前年同期経常損失199百万円）、当期純損失50百万円（前年同期純損失823百万円）を予想しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「たな卸資産の増減額(は増加)」及び「仕入債務の増減額(は減少)」は、重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することといたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の「たな卸資産の増減額(は増加)」及び「仕入債務の増減額(は減少)」の金額は、それぞれ 445千円及び19,958千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,655	3,384,055
受取手形及び売掛金	981,869	884,834
商品	118,024	122,054
未収入金	549,392	522,579
その他	211,110	122,223
貸倒引当金	△37,376	△27,809
流動資産合計	4,644,675	5,007,937
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	374,575	361,684
その他(純額)	224,846	270,019
有形固定資産合計	599,422	631,703
無形固定資産		
のれん	218,024	211,316
その他	179,810	158,754
無形固定資産合計	397,835	370,070
投資その他の資産		
投資有価証券	974,927	943,586
敷金及び保証金	535,665	582,623
繰延税金資産	113,886	120,558
その他	337,498	332,545
貸倒引当金	△82,520	△82,520
投資その他の資産合計	1,879,458	1,896,793
固定資産合計	2,876,715	2,898,567
資産合計	7,521,390	7,906,505
負債の部		
流動負債		
買掛金	327,931	304,937
短期借入金	1,000,000	1,189,068
1年内償還予定の社債	160,000	240,000
未払金	745,961	731,670
未払法人税等	78,671	72,893
解約調整引当金	325,877	303,870
その他	358,466	335,026
流動負債合計	2,996,908	3,177,467
固定負債		
社債	—	40,000
その他	91,605	97,700
固定負債合計	91,605	137,700
負債合計	3,088,513	3,315,167

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,653,660	4,653,660
資本剰余金	4,439,468	4,439,468
利益剰余金	△6,765,548	△6,622,457
自己株式	△339,926	△416,489
株主資本合計	1,987,654	2,054,182
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,377	△16,487
評価・換算差額等合計	△14,377	△16,487
少数株主持分	2,459,599	2,553,643
純資産合計	4,432,877	4,591,338
負債純資産合計	7,521,390	7,906,505

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	2,840,546	3,988,526
売上原価	1,541,849	2,338,898
売上総利益	1,298,696	1,649,628
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	302,074	425,038
賃借料	344,054	296,773
減価償却費	103,708	80,715
その他	626,031	766,178
販売費及び一般管理費合計	1,375,869	1,568,705
営業利益又は営業損失(△)	△77,172	80,922
営業外収益		
受取利息	3,290	898
受取手数料	1,800	1,719
消費税等差額	—	6,152
その他	3,760	5,098
営業外収益合計	8,851	13,868
営業外費用		
支払利息	11,114	2,745
投資事業組合運用損	25,379	18,331
その他	1,736	5,176
営業外費用合計	38,229	26,254
経常利益又は経常損失(△)	△106,550	68,536
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	94,159	9,451
事業整理損	—	5,441
事業所移転費用	—	4,145
投資有価証券評価損	11,395	—
減損損失	238,376	—
特別損失合計	343,931	19,039
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△450,482	49,497
法人税、住民税及び事業税	23,092	43,499
法人税等調整額	△36,155	△17,069
法人税等合計	△13,063	26,429
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△41,233	26,658
四半期純損失(△)	△396,184	△3,590

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	1,487,608	1,994,027
売上原価	776,152	1,178,610
売上総利益	711,456	815,416
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	163,899	213,857
賃借料	172,363	146,222
減価償却費	50,445	40,365
その他	303,745	377,544
販売費及び一般管理費合計	690,454	777,989
営業利益	21,001	37,427
営業外収益		
受取利息	2,749	612
未払配当除斥益	1,696	2,016
保証金返還益	1,692	—
その他	932	2,002
営業外収益合計	7,071	4,630
営業外費用		
支払利息	4,338	1,255
投資事業組合運用損	25,379	20,971
その他	1,407	4,926
営業外費用合計	31,124	27,153
経常利益又は経常損失(△)	△3,051	14,904
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	47,575	1,077
事業所移転費用	—	4,145
減損損失	238,376	—
特別損失合計	285,951	5,223
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△289,003	9,680
法人税、住民税及び事業税	9,121	23,630
法人税等調整額	9,396	△3,568
法人税等合計	18,517	20,061
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△22,895	15,322
四半期純損失(△)	△284,626	△25,703

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△450,482	49,497
減価償却費	140,033	122,976
減損損失	238,376	—
のれん償却額	16,157	11,330
解約調整引当金の増減額(△は減少)	△56,085	22,006
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,544	9,567
受取利息及び受取配当金	△3,290	△898
支払利息	11,114	2,745
投資事業組合運用損益(△は益)	25,379	18,331
投資有価証券評価損益(△は益)	11,395	—
固定資産除却損	94,159	9,451
事業整理損失	—	5,441
事業所移転費用	—	4,145
売上債権の増減額(△は増加)	△47,151	△53,288
たな卸資産の増減額(△は増加)	—	2,580
仕入債務の増減額(△は減少)	—	22,993
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,063	7,255
その他	20,839	△43,831
小計	△38,073	190,307
利息及び配当金の受取額	4,429	1,480
利息の支払額	△8,286	△3,455
法人税等の支払額	△44,879	△61,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	△86,810	126,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	378,020	245,967
定期預金の預入による支出	△245,967	—
子会社の自己株式の取得による支出	—	△50,000
投資有価証券の取得による支出	△7,480	△50,203
出資金の分配による収入	13,058	2,640
有形固定資産の取得による支出	△3,939	△56,821
無形固定資産の取得による支出	△13,164	△59,787
長期前払費用の取得による支出	△3,993	△3,993
その他	△4,829	△7,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	111,705	20,592

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000	△189,068
社債の償還による支出	△620,000	△120,000
配当金の支払額	△152,915	△80,873
少数株主への配当金の支払額	—	△88,740
自己株式の処分による収入	40,587	15,232
その他	—	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,232,328	△463,959
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,207,433	△316,433
現金及び現金同等物の期首残高	5,087,967	3,138,088
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,880,533	2,821,655

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)

当社グループは情報技術を利用した各種サービスを営んでおり、単一セグメントに属しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日)

当社グループは情報技術を利用した各種サービスを営んでおり、単一セグメントに属しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	761,737	616,830	615,459	1,994,027		1,994,027
(2) セグメント間の 内部売上高	17,623	32,143		49,766	(49,766)	
計	779,360	648,974	615,459	2,043,794	(49,766)	1,994,027
営業費用	763,490	493,338	641,776	1,898,604	57,995	1,956,600
営業利益又は 営業損失()	15,870	155,636	26,317	145,189	(107,762)	37,427

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)

	ブロード バンド 事業 (千円)	ソリューショ ンサービス 事業 (千円)	文化教育 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,536,395	1,178,016	1,274,114	3,988,526		3,988,526
(2) セグメント間の 内部売上高	35,849	65,342		101,191	(101,191)	
計	1,572,245	1,243,359	1,274,114	4,089,718	(101,191)	3,988,526
営業費用	1,526,278	1,000,491	1,275,471	3,802,241	105,362	3,907,604
営業利益又は 営業損失()	45,966	242,867	1,356	287,477	(206,554)	80,922

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な内容

事業セグメント名	主な事業の内容	主要な事業会社
ブロードバンド事業	インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供、加入希望者の獲得、附帯するサービスの提供	㈱Nexyz.BB ㈱ネクシィーズ・コミュニケーションズ
ソリューションサービス事業	製品・サービスの販売促進、ノウハウや技術の提供、コンサルティング業務	㈱ネクシィーズ イデアキューブ㈱ ㈱ネクシィーズ・トレード ㈱ソニア・パートナーズ ㈱ユーシーシー・ネクシィーズ ㈱ブランジスタ ㈱Nexyz.VP
文化教育事業	きもの着付け、くみひも、ちぎり絵等の教室運営、呉服や和装小物等の販売	㈱ハクビ ㈱美楽衣

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

当社グループは本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社グループは本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年1月1日至平成22年3月31日)

当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年3月31日)

当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。